

平成27年度健康福祉部圏域別地域公聴会意見・回答

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問	公聴会回答	公聴会後の対応状況等	担当課	意見者	開催日
1	隠岐	02 地域医療対策	03 がん対策 (01 医療提供体制)	がんの早期発見、特に働き盛りの世代にむけた県としての取り組み	<p>がんによる死亡が増え、検診率の低さが続く状態の中、全国でも注目されている新たながん対策として、複数(胃、肺、大腸、前立腺、乳、子宮、卵巣)のリスクが早期に発見できる血液検査、アミノ酸がんリスクスクリーニングがある。</p> <p>鳥取県では、国の補助金等を取り入れ、地域活性化を目的に積極的に取り組んでいると聞く。</p> <p>島根では、雲南、日赤等が人間ドックに個々に取り組んでいるようだが、県としてはどう考えているのかお聞きしたいと思う。</p> <p>※時間があれば患者搬送についてもお聞きしたいことがある。</p>	<p>がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがん死亡を減少させることであるため、県としては、国が有効と認めたがん検診を各市町村で正しく実施することを支援していきます。</p> <p>アミノ酸がんリスクスクリーニングについては、国が有効と認めたがん検診ではないため、住民検診として推進する考えはありません。</p> <p>なお、各医療機関等が任意のがん検診(人間ドック等)として取り組まれることについて、制限するものではありません。</p> <p>(参考) 鳥取県は、H23～27年度にかけて、地域活性化総合特区推進事業により、アミノインデックス検査実施にかかる費用の補助を実施しています。</p>	公聴会時の回答と同じ【健康推進課】	健康推進課	がんサロン 隠岐たんぼぼ	7月23日
2	隠岐	04 高齢者施策	01 介護保険制度	福祉・介護人材の確保	<p>要介護老人が増加していく中で、少子化で人材不足の上に、福祉で働く人材は益々少なくなり、在宅・福祉施設ともに人材不足が生じている。</p> <p>あらゆる方策を考え、福祉の人材確保に努めなければならない。</p>	<p>福祉・介護の人材確保は喫緊の課題であり、総合的・計画的に対策を進めなければならないと考えています。</p> <p>平成25年度に県が行った調査によれば、特に、離島・中山間地域における介護福祉士等専門職の確保が厳しい状況にあり、平成26年度以降、県では新たな事業も始めたところです。例えば、</p> <p>①実務者研修のスクーリングの離島等での実施を支援する事業</p> <p>②離島等での就業をめざす学生の就業体験に対する助成事業</p> <p>③介護職員の看護師資格取得経費への助成における離島・中山間地域加算</p> <p>などで、介護福祉士の増加をめざしているところです。</p> <p>この他にも、学校現場で福祉の職場への理解を高めていただくことも必要と考え、小中学生向けの教材を配布したり、高校生向けに奨学金制度等を紹介したガイドブックを配布する取組も行っています。</p> <p>また、地域の実情に応じた介護報酬の更なる上乘せ等についても国に対して要望をしています。</p> <p>こうしたことを含め、今後とも、介護人材の確保に努めて参ります。</p> <p>【地域福祉課】</p>	<p>平成28年度予算においても、離島・中山間地域における介護福祉士等専門職の確保のため、引き続き、</p> <p>①実務者研修のスクーリングの離島等での実施を支援する事業</p> <p>②介護職員の看護師資格取得経費への助成における離島・中山間地域加算</p> <p>を実施することとしています。</p> <p>また、小中学生向けの教材配布や高校生向けのガイドブックの配布にも引き続き取り組んでいきます。</p> <p>【地域福祉課】</p>	地域福祉課 高齢者福祉課	西ノ島町老人クラブ 連合会	7月23日
3	隠岐	04 高齢者施策	01 介護保険制度	介護支援専門員研修制度の見直しについて	<p>H28年度から、介護支援専門員の更新における研修カリキュラムが見直され時間が増える。</p> <p>介護支援専門員の資質向上は必要であると思うが、離島から研修を受けると、費用も時間も現行以上にかかる。</p> <p>業務の面から考えても、それだけの長い時間、島を離れると支障をきたす。(人材不足の面からしても代替職員も確保が困難)</p> <p>I C T等のシステムを構築し、島で研修を受けることができる仕組みを要望する。※全てのカリキュラムを遠隔システムにしなくても、できるところから実施していただきたい。</p>	<p>都道府県間の研修水準の平準化と介護支援専門員の更なる資質向上を目的として、平成28年度から研修カリキュラムの見直しが行われ、内容が充実されました。</p> <p>県では、現在、来年度に向け、このカリキュラムに沿った研修計画を組み立てているところです。</p> <p>この見直しにより、研修時間数が増え、全体として複数日受講することになりますが、日程については、1回当たり2日間程度の研修を複数回設けることで、長期間業務を離れることがないよう配慮することとしています。</p> <p>【高齢者福祉課】</p> <p>福祉サービスに従事する職員の研修については、県の関係各課からの補助・委託を受けて、あるいは独自に島根県社会福祉協議会(福祉人材センター)で実施されていますので、要望内容を福祉人材センターに伝えて、検討を依頼しています。</p> <p>【地域福祉課】</p>	公聴会時の回答と同じ【高齢者福祉課】	高齢者福祉課 地域福祉課	海士町社会福祉協議会(当日欠席)	7月23日